

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：2018年2月24日（土）15時～17時15分
2. 開催場所：京都ペレット町家ヒノコ（京都市中京区寺町通二条下ル榎木町98-7）
3. 関係団体等：日本農芸化学会，京都カラスマ大学

4. 役割

挨拶：佐藤 文彦（京都大学 教授・日本学術会議連携会員）

司会：木岡則行

5. 概要：

【講師】八田一（京都女子大学 教授）

【題目】「エッグサイティング！ 卵の可能性」

【内容】

母乳に匹敵する良質なタンパク質源であり、食べておいしく、健康にもよい卵であるが、我々の知らない卵の性質を八田先生の40年にわたる研究成果とともに、面白く学習した。まず、コロブスの卵でなくとも卵が立つという目から鱗が落ちる話にまず、みんな驚いた。このあと、卵の性質から、如何にして、逆温泉卵をつくるのか、また、料亭卵や君返し卵が如何に再現されたのかという話を大変楽しくお聞きした。さらに、実際に黄身返し卵をつくる実験を行った。ゆで卵を作る間、卵からワクチンができるという最先端の研究についてもお話をお聞きし、卵研究の奥の深さに参加者一同感激した。実際に、黄身返し卵の出来不出来に盛り上がるとともに、質疑応答が行われ、卵の科学の理解が深まった半日となった。

6. 参加人数：

講演者等：8名（講演者、司会者、挨拶、実験補助者等）

その他の参加者：12名

7. 特記事項：

特になし